

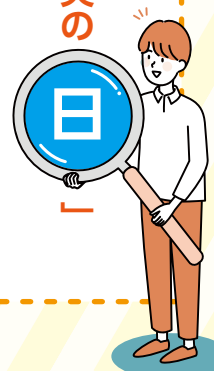
特集 備える まちる

家庭で災害に対する備えをしているように、まちにも災害への備えがあると安心です。いざという時に、素早く安全に行動できるように、まちの備えを確認しておきましょう。

問い合わせ

防災について：危機管理課 ☎24・8150
消防について：中消防署東出張所 ☎47・3519

7月29日は「小松市市民防災の日」
市観測史上最大雨量を記録し、梯川が氾濫水位を超えた9年前の7月29日、みんなが協力し合い、大きな被害を防ぎました。「市民防災の日」は、このことを忘れず、防災について考える日です。



水害に備える



まるびとまちごとハザードマップ

河川が氾濫した時、自分の住んでいる町はどのくらいの高さまで浸水する可能性があるのか知っていますか。浸水が想定される区域には、公民館や付近の電柱などに最大の浸水の深さを示す標識を設置しています。標識は市内164カ所に設置されており、まち全体がハザードマップになっています。自分の住む町の標識を確認して、家族や町の人と避難場所や避難経路について話し合ってみましょう。

CHECK

避難者宿泊施設利用補助制度

安心して早めの避難ができるよう、指定のホテルなどに避難した場合の宿泊費を補助します。

対象となる状況 住んでいる地域に「高齢者等避難」以上の避難情報が発令された場合

対象者 ●75歳以上のみの世帯の人 ●障がいのある人 ●要介護認定3～5を受けている人 ●妊婦 ●乳児と保護者（1人） など

補助額 宿泊費の3分の2（1人1泊につき上限5千円）

申請先 危機管理課 ☎24・8150



火災に備える



初期消火の最強アイテム

火災では、消防車が到着する前の初期消火が有効です。そこで、消火器よりも消火能力の高い「スタンドパイプ」が近年普及し始めています。これがあれば、大災害時に消防車の到着が遅れても、町の人々がすぐに消火活動を行えます。また、消防車が入れない場所でも使えるため、市では2年前から住宅密集地区に設置しています。

あなたのまちにもスタンドパイプ

いざという時に誰でも扱うことができるスタンドパイプを、皆さんの町にも導入しませんか。スタンドパイプは市内に約2500基ある消火栓につないで使用します。導入後は、町内の皆さんで、設置場所と消火栓の場所を確認しておきましょう。

※購入する際は、安心して使用できる検定品の表示があるものを選びましょう。

町内会施設整備補助金

町内に設置するスタンドパイプの購入費を助成します。

対象 町内会、自主防災組織、地域自衛消防隊

補助率 10分の9（上限20万円）

申請先 中消防署 ☎20・2714

「いざ」に備えて「今」使ってみよう
いざという時にスムーズに使用できるように、まずは一度使ってみましょう。

消防職員が教えます

スタンドパイプを設置している町に消防職員が向き、安全な使い方や町で使用する際の注意点を指導します。

お試し体験

スタンドパイプを導入していない町も、消防署で体験ができます。消火能力を体感し、導入を検討する際の参考にしてください（町単位での申し込みのみ、個人ではできません）。

申込先 いずれも中消防署東出張所
☎47・3519



▲①②体験の様子 ③スタンドパイプ

参加無料 自分を守る力を身に付けよう！子供向け防災教室

○防災の日イベント「夏休み親子防災体験教室」

とき 7月29日（金）14時30分～
ところ サイエンスヒルズこまつ ミラクルラボ
内容 災害時に電気自動車にできることを学ぶほか、災害食作り体験などをします。
対象 小学生と保護者
定員 15組程度（先着順）
申し込み 7月26日（火）までに「参加者全員の名前、住所、連絡先」を電話またはメール
申込先 危機管理課 ☎24・8150
✉bousaianzen@city.komatsu.lg.jp

○こまつジュニア防災リーダー養成講座

とき 8月21日（日）9時～12時
ところ 消防本部
内容 防災体験・消防訓練などを通じて、自分を守る力を身に付け、未来の防災リーダーを育てます。
対象 市内の小学4～6年生
定員 50人
申し込み 7月20日（水）までに各小学校
問い合わせ 消防本部予防防災課 ☎20・2709



市ホームページ

ハザードマップや防災に関する各種情報を掲載しています。



LINEで防災

@komatsu-city



市公式ツイッター

@komatsu_city



市公式フェイスブック

「速いは近い つながる小松」で検索



防災情報を収集しましょう
テレビやラジオのほか、インターネットや防災行政無線などを使って最新情報を確認し、早めの避難行動に役立ててください。